



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス

コード番号 4732 URL <https://www.ussnet.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 安藤 之弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	53,964	△7.3	25,758	△3.7	26,370	△3.2	17,715	△3.0
2020年3月期第3四半期	58,184	△0.3	26,748	△1.3	27,233	△1.3	18,270	△1.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 18,060百万円 (△2.3%) 2020年3月期第3四半期 18,484百万円 (△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	71.05	70.92
2020年3月期第3四半期	72.94	72.79

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	215,470	186,909	85.8
2020年3月期	219,133	183,980	83.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 184,862百万円 2020年3月期 181,939百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	25.60	ー	29.80	55.40
2021年3月期	ー	27.75	ー		
2021年3月期（予想）				27.75	55.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	71,200	△8.9	32,600	△9.5	33,300	△9.3	22,100	7.1
								88.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	313,250,000株	2020年3月期	313,250,000株
2021年3月期3Q	63,971,659株	2020年3月期	63,717,259株
2021年3月期3Q	249,318,461株	2020年3月期3Q	250,490,979株

(注) 2021年3月期3Qの期末自己株式数には381,100株、USS従業員持株会専用信託が所有する株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2021年2月8日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内自動車流通市場の新車登録台数(軽自動車含む)の推移を比較しますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言が発出された第1四半期連結会計期間(2020年4月～6月)は836千台(前年同期比31.8%減)と大幅に減少しましたが、緊急事態宣言解除以降の第2四半期連結会計期間(2020年7月～9月)は1,192千台(前年同期比14.6%減)と回復基調となり、当第3四半期連結会計期間(2020年10月～12月)には1,198千台(前年同期比14.6%増)と、前年同期実績には10月に実施された消費税増税の影響があるものの、前年同期を上回る台数で推移しました。

中古車登録台数(軽自動車含む)においても、第1四半期連結会計期間は1,557千台(前年同期比6.9%減)、第2四半期連結会計期間は1,705千台(前年同期比0.8%減)、当第3四半期連結会計期間は1,694千台(前年同期比4.1%増)となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数(軽自動車含む)は3,226千台(前年同期比12.0%減)、中古車登録台数(軽自動車含む)は4,958千台(前年同期比1.2%減)となりました。(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

また、中古車需要に大きく影響を及ぼす中古車輸出市場は、新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少し、輸出台数は771千台(前年同期比22.5%減)となりました。(財務省貿易統計調べ)

オートオークション市場における出品台数は5,184千台(前年同期比8.0%減)、成約台数は3,347千台(前年同期比6.9%減)、成約率は64.6%(前年同期実績63.8%)となりました。(株)ユーストカー調べ)

このような経営環境の中、USSグループの当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高53,964百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益25,758百万円(前年同期比3.7%減)、経常利益26,370百万円(前年同期比3.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益17,715百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

オートオークション

オートオークションの出品台数は1,923千台(前年同期比11.3%減)、成約台数は1,204千台(前年同期比8.7%減)、成約率は62.6%(前年同期実績60.9%)となりました。

オートオークションにおける売上高は、2020年5月の緊急事態宣言解除以降の取扱台数が回復基調にあるものの、前年同期を下回ったことから減少しました。

営業費用については、R-名古屋会場の立体駐車場建設などにより減価償却費や租税公課が増加したものの、低額車コーナーの買取保証や人件費の減少などにより減少しました。

この結果、オートオークションのセグメントは、外部顧客に対する売上高44,111百万円(前年同期比6.4%減)、営業利益25,233百万円(前年同期比3.8%減)となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、販売台数が減少したものの、2020年5月の緊急事態宣言解除以降、オークション相場が高水準で推移したことにより、台当たり粗利益が改善し減収増益となりました。

事故現状車買取販売事業は、販売台数が減少したものの、2020年5月の緊急事態宣言解除以降、オークション相場が高水準で推移したことにより、台当たり粗利益が改善し減収増益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売のセグメントは、外部顧客に対する売上高6,040百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益237百万円(前年同期比81.6%増)となりました。

その他

リサイクル事業は、2020年4月以降の鉄スクラップ相場は回復基調にあるものの、取扱量が減少したことから減収減益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、中古車輸出台数の大幅な減少により、受注台数が減少したことから営業損失となりました。

この結果、その他のセグメントは、外部顧客に対する売上高3,812百万円(前年同期比12.3%減)、営業利益211百万円(前年同期比34.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は215,470百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,663百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が3,111百万円増加した一方、有価証券が3,000百万円、オークション貸勘定が2,610百万円減少したことによるものです。

負債合計は28,560百万円となり、前連結会計年度末と比較して6,592百万円減少しました。これは主に、未払金など流動負債のその他が3,676百万円、未払法人税等が1,961百万円、オークション借勘定が1,216百万円減少したことによるものです。

純資産合計は186,909百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,928百万円増加しました。これは主に、自己株式の取得により623百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益17,715百万円に対し、配当金を14,364百万円支払ったことなどにより利益剰余金が3,354百万円増加したことによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して111百万円増加し、50,940百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は23,054百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益26,356百万円（前年同期比3.1%減）、法人税等の支払額9,552百万円（前年同期比28.0%減）、減価償却費及びその他の償却費3,917百万円（前年同期比7.2%増）によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は8,367百万円となりました。これは主に、R-名古屋会場の立体駐車場建設などにとともう有形固定資産の取得による支出5,145百万円（前年同期比67.1%増）、HAA神戸会場の借地権取得などにとともう無形固定資産の取得による支出3,265百万円（前年同期実績387百万円）によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は14,575百万円となりました。これは主に、配当金の支払額14,364百万円（前年同期比11.2%増）、長期借入れによる収入980百万円（前年同期実績一百万円）、自己株式の取得による支出978百万円（前年同期比87.2%減）によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（2020年11月9日発表）の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,729	53,840
オークション貸勘定	5,603	2,993
受取手形及び売掛金	2,894	1,864
有価証券	6,000	3,000
たな卸資産	1,052	851
その他	1,855	1,097
貸倒引当金	△38	△22
流動資産合計	68,096	63,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,573	36,138
土地	65,031	65,031
建設仮勘定	1,673	1,896
その他(純額)	3,469	3,152
有形固定資産合計	106,747	106,219
無形固定資産		
のれん	29,449	28,127
その他	6,671	9,068
無形固定資産合計	36,120	37,196
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,325	8,577
貸倒引当金	△157	△148
投資その他の資産合計	8,168	8,429
固定資産合計	151,037	151,844
資産合計	219,133	215,470

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
オークション借勘定	8,721	7,504
支払手形及び買掛金	376	382
短期借入金	300	316
1年内返済予定の長期借入金	220	220
未払法人税等	5,623	3,661
引当金	713	341
その他	8,542	4,866
流動負債合計	24,497	17,292
固定負債		
長期借入金	2,420	3,136
退職給付に係る負債	834	744
資産除去債務	609	615
その他	6,792	6,772
固定負債合計	10,656	11,268
負債合計	35,153	28,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,911	18,909
利益剰余金	206,654	210,009
自己株式	△56,861	△57,485
株主資本合計	187,585	190,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	198
土地再評価差額金	△5,633	△5,636
退職給付に係る調整累計額	△15	△13
その他の包括利益累計額合計	△5,646	△5,451
新株予約権	494	437
非支配株主持分	1,546	1,609
純資産合計	183,980	186,909
負債純資産合計	219,133	215,470

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	58,184	53,964
売上原価	23,136	20,567
売上総利益	35,047	33,397
販売費及び一般管理費	8,298	7,639
営業利益	26,748	25,758
営業外収益		
受取利息	4	5
不動産賃貸料	439	470
雑収入	164	274
営業外収益合計	607	750
営業外費用		
支払利息	10	10
不動産賃貸原価	100	115
雑損失	12	12
営業外費用合計	122	138
経常利益	27,233	26,370
特別利益		
固定資産売却益	33	50
その他	—	0
特別利益合計	33	51
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	65	56
その他	0	8
特別損失合計	66	65
税金等調整前四半期純利益	27,201	26,356
法人税等	8,775	8,493
四半期純利益	18,426	17,862
非支配株主に帰属する四半期純利益	155	147
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,270	17,715



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	18,426	17,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57	196
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	58	197
四半期包括利益	18,484	18,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,329	17,913
非支配株主に係る四半期包括利益	155	147

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	27,201	26,356
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	3,654	3,917
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,487	1,322
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△390	△25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△355	△372
受取利息及び受取配当金	46	△88
支払利息	△14	△69
有形固定資産除売却損益 (△は益)	10	10
オークション勘定の増減額	15	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,227	1,393
仕入債務の増減額 (△は減少)	355	1,030
未払金の増減額 (△は減少)	△170	5
預り金の増減額 (△は減少)	△834	△25
預り金の増減額 (△は減少)	△1,464	△1,065
その他	173	144
小計	25,487	32,534
利息及び配当金の受取額	20	83
利息の支払額	△10	△11
法人税等の支払額	△13,274	△9,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,223	23,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,080	△5,145
有形固定資産の売却による収入	38	81
無形固定資産の取得による支出	△387	△3,265
関係会社株式の取得による支出	△221	—
その他	△61	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,711	△8,367
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	559	16
長期借入れによる収入	—	980
長期借入金の返済による支出	△311	△264
預り保証金の預りによる収入	121	106
預り保証金の返還による支出	△180	△104
自己株式の取得による支出	△7,641	△978
自己株式の売却による収入	225	194
自己株式取得のための金銭の信託の増減額 (△は増加)	3,640	—
非支配株主からの払込みによる収入	49	—
配当金の支払額	△12,920	△14,364
非支配株主への配当金の支払額	△68	△51
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△42	△82
その他	△34	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,602	△14,575
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,091	111
現金及び現金同等物の期首残高	45,452	50,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,361	50,940

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症が、各セグメントにおいて取扱台数、販売数量の減少等に影響を与えておりますが、2020年5月の緊急事態宣言解除以降は回復に向かっております。

U S Sグループは新型コロナウイルス感染症の影響が一定期間続くものとして、会計上の見積りおよび仮定の設定を検討しておりますが、現時点において重要な影響を与えるものではないと判断しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は不確定要素が多く、今後の状況の変化によっては、将来における連結財務諸表において重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,133	6,703	53,836	4,347	58,184	—	58,184
セグメント間の 内部売上高または 振替高	317	0	317	35	352	△352	—
計	47,450	6,703	54,153	4,383	58,537	△352	58,184
セグメント利益	26,220	131	26,351	322	26,673	75	26,748

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額75百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオ クション	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,111	6,040	50,151	3,812	53,964	—	53,964
セグメント間の 内部売上高または 振替高	277	0	277	40	317	△317	—
計	44,388	6,040	50,429	3,853	54,282	△317	53,964
セグメント利益	25,233	237	25,471	211	25,683	75	25,758

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサイクル事業および中古自動車の輸出手続代行サービス事業等であります。

2. セグメント利益の調整額75百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	581	539	△7.3	712
営業利益	267	257	△3.7	326
経常利益	272	263	△3.2	333
親会社株主に帰属する四半期(当期) 純利益	182	177	△3.0	221

## (2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	111	101	△8.4	132
成約手数料	107	100	△6.3	132
落札手数料	161	154	△4.2	203
バイクオークション手数料	5	6	7.6	7
商品売上高	18	11	△38.5	17
その他の営業収入	66	66	△1.0	87
オートオークション計	471	441	△6.4	581
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	37	34	△8.0	46
事故現状車買取販売	29	26	△12.2	32
中古自動車等買取販売計	67	60	△9.9	78
《その他》				
リサイクル事業	39	35	△10.9	48
中古自動車の輸出手続	3	2	△31.2	2
代行サービス	0	0	1.1	0
その他	0	0	1.1	0
その他計	43	38	△12.3	51
合計	581	539	△7.3	712

(注) バイクオークション手数料は、株式会社ジャパンバイクオークションが運営するバイクオークションの手数料であります。

## (3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	2020年3月期	2021年3月期		
	第3四半期	第3四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	34	84	142.3	94
完工ベース	33	54	62.8	83
減価償却費	36	38	7.8	53